

サステナビリティ経営とオペレーションの『深化』

～「サステナビリティを考慮した経営」が

経営管理・情報開示／組織統制／サプライチェーン:各領域にもたらす変化と対応の考察～

■日時■ 2018年 2月16日 金曜日 13:00～16:30

■会場■ 東京・TKP スター会議室 紀尾井町 千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル 1F

■講師■ (株)野村総合研究所 コーポレートイノベーションコンサルティング部
プリンシパル 国際公共政策博士 伊吹 英子 氏
金融コンサルティング部 主任コンサルタント 深井 恒太郎 氏

■ご参加いただきたい皆様■

1. サステナビリティ(CSR/ESG/CSV)経営の重要性を認識している企業で
 - サステナビリティ (CSR/ESG/CSV) 経営の基礎・実践を習得されたい方
 - サステナビリティ (CSR/ESG/CSV) 経営の重点実務を後進に指導されたい方
2. サステナビリティ(CSR/ESG/CSV)戦略を展開している企業で
 - サステナビリティ (CSR/ESG/CSV) を経営の中核に位置づけたい方
 - サステナビリティ (CSR/ESG/CSV) 経営の再構築を模索されている方
 - サステナビリティの概念を経営の枠組みへと統合されたいと考えている方

左記企業の
◇経営層(トップ、役員)
◇企画部門スタッフ
◇広報・IR部門スタッフ
◇CSR部門スタッフ
◇人事・総務・法務部門スタッフ
◇事業部門スタッフ&ライン
◇調達部門スタッフ

■本研究講座の特長：サステナビリティ経営とオペレーションの『深化』の重要コンセプト■

近年、過度の資本主義への懐疑性や、環境・社会問題にかかわる企業に向けた社会的牽制が強まり、企業経営において持続的成長に向けた「サステナビリティを考慮した経営」へと舵切りする機運が高まっています。実際に、先進企業は、こうした変化を先取りし、経営計画や事業戦略の中核にサステナビリティの要素を統合する動きが見られています。サステナビリティ経営への舵切りは、将来、企業経営の「オペレーション領域」（経営管理・情報開示領域／組織統制領域／サプライチェーン領域）に対しても多様な変化をもたらすこととなります。サステナビリティ経営には、「競争力強化」や「リスクヘッジ」などの効果が見込めますが、オペレーション領域にサステナビリティ要素を組み入れることによって、長期的・社会的視野でのリスク対応を実現し、持続的成長に向けて経営基盤を強化することができます。本講座では、サステナビリティがオペレーション領域にもたらす影響を考察するとともに、先進ケースの紹介とともに、将来の持続成長に向けた今後の取組みに向けた示唆をご説明いたします。 ※セミナー後半で講師・ご参加メンバー間での双方向ご意見交換・対話時間も設定しております。

●参加要領●

●受講料● 1名 (税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●当ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

企業研究会セミナー

- お申込み後(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。
- 申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の操作方法(O発信の有無など)をご確認の上、FAX番号の間違えにご注意ください

一般社団法人 企業研究会
担当：早瀬 E-mail: hayakan@bri.or.jp
102-0083 千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F
TEL 03-5215-3513 FAX: 03-5215-0951

弊会ホームページからのお申込みが便利です。 <https://www.bri.or.jp>

173015-0104※		18・2・16 サステナビリティ経営とオペレーションの深化	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

伊吹 英子 氏《プロフィール》

早稲田大学大学院理工学研究科修了、大阪大学大学院国際公共政策博士後期課程修了。国際公共政策博士。専門は、CSR/ESG/CSV経営に関するビジョン・戦略構築と実行支援、経営管理システム改革など。NRIのCSRコンサルティングの実績をゼロから創り上げ、現在は、幅広い業種の経営・事業戦略立案、CSRのビジョン・戦略立案、経営管理システム改革などのコンサルティングに従事。2002年度筑波大学大学院非常勤講師、2004年度大阪大学大学院非常勤講師等、2011年度まで日本NPO学会理事。著書に「新版 CSR経営戦略—社会的責任で競争力を高める」ほか



深井 恒太郎 氏《プロフィール》

京都大学大学院農学研究科修了。専門は、CSV/サステナビリティ経営戦略策定、CSR/ESG、コーポレートファイナンス、人材マネジメント・組織開発など。現在は、業種横断にて経営戦略策定、投資家向け情報開示、M&A・ファイナンスに関するコンサルティングに従事。



●プログラム●

13:00

1・注目されるサステナビリティ経営

・サステナビリティ経営とは

- サステナビリティ経営の概念整理

・なぜ、サステナビリティ経営なのか

- ステークホルダーからの社会的プレッシャー／
- 国際的な枠組み・原則の進展、従来式の経営計画の限界

・サステナビリティ経営によるメリット

- 競争戦略としての寄与／リスクヘッジとしての寄与／
- 従業員ロイヤルティの向上

2・サステナビリティ経営がオペレーション領域にもたらす影響

・サステナビリティ経営とオペレーション領域

- オペレーション領域の対象
- サステナビリティ経営のアップサイド・ダウンサイド両側面
- オペレーション領域への寄与

・サステナビリティ経営がオペレーション領域にもたらす影響

- 社会的な要請を受けた企業への影響
- 対応に向けた基本的な考え方

3・オペレーション領域にもたらされる変化

・経営管理・情報開示領域（経営計画・経営管理・対外的な情報開示）

- 非財務領域におけるKPI設定・新しい商品管理基準
- 投資家との対話に向けた適切な情報開示
- 先進事例

・組織統制領域（組織統制・人事評価・事業判断基準）

- サステナビリティを考慮した多層的な意思決定の仕組み
- 新しいインセンティブ付けの動き
- 先進事例

・サプライチェーン領域（サプライチェーン上のリスク管理）

- サプライチェーン全体に求められるサステナビリティ
- サプライチェーン領域にもたらされる変化
- 先進事例

4・サステナビリティ観点からのオペレーションの深化に向けて

・取り組みステップ

- サステナビリティ観点を組み入れる目的・意義の明確化
- 業種・業態、展開地域・エリアなどに基づく自社特性の把握
- 各オペレーション領域における施策の設計・実行
- 施策の成果検証・ブラッシュアップ

(途中休憩)

15:20

(休憩)

15:30

✓『講師&参加者間での(グループ)ディスカッション・意見交流会』

16:15

✓グループ間での情報共有・全体総括

16:30

《質疑応答は講義中に随時・適時承ります》

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。